

# 社会科学習指導略案

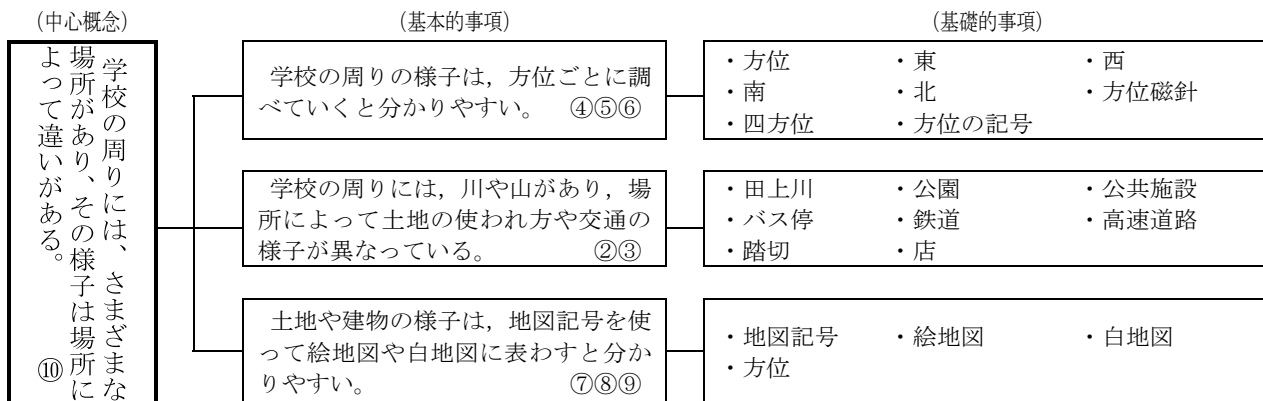
3年3組 37名 指導者 御領原 尚 弘

本授業では、以下の検証を行うものである。

○ 「思考スキル」や「見える図」の活用は、思考力・判断力・表現力を育成するのに有効であったか。

## 1 小単元 学校のまわり (大単元 1 わたしたちのまち みんなのまち)

### 2 小単元の構造について (概念構造図) ※ ○数字は時数



### 3 指導計画 (総時数12時間)

| 過程       | 主な学習活動【評価規準】   | 時間                    |
|----------|--|-----------------------|
| つかむ・見通す  | 1 日常生活や通学の経験をもとに学校のまわりの様子についてわからないことや疑問に思うことを話し合い、学習問題をつくりあげる。<br>田上小学校のまわりの様子は、どんな特ちょうがあるのだろうか。   | 1                     |
|          | 2 学習問題について予想し、学習計画(追究の柱)を立てる。<br>・ 自然について<br>・ 公共施設について<br>・ 土地利用の様子について<br>・ 交通の様子について<br>【関・意・態】 意欲的に学習問題やそれに対する予想を立て、予想から追究の柱を考えようとしている。<br>校区内の写真を見せたり、自分の通学路を略絵地図で表したりすることで田上小学校の周りの様子を想起させ、学習問題や追究の柱を立てられるようにする。   | 1                     |
| 調べる      | 3 追究の柱について、個人やグループで調べ、全体で話し合う。<br>(1) 調べたい方位(東西南北)ごとにグループをつくり、方位ごとに4つの追究の柱について調べていく。(個人→グループ)<br>① 屋上からそれぞれの方位を見て、学校の周りの様子について調べる。<br>② 方位別に校区探検を行い、学校の周りの様子について調べる。<br>(2) 調べたことを、絵地図にまとめる。<br>(3) 地図記号について知り、調べたことを地図記号を用いて、平面地図に表す。<br>(4) 各自で調べた方位ごとの土地利用の様子について比較・分類し、共通点や相違点を話し合う。<br>【思・判・表】 学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子等を関連付けて考え、考えたことを表現している。<br>【技】 学校の周りの様子について情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や白地図にまとめている。<br>同じ方位のグループで土地利用の特徴についてまとめた上で、他の方位の特徴と比較・分類させることで中心概念に迫ることができるようにする。 | 1<br>3<br>2<br>1<br>1 |
|          | 4 調べたことをもとに、学習問題についてまとめる。<br>田上小学校のまわりの様子は、方位ごとにちがいがああり、土地がひくい所に大きな道やたて物が集まっている。<br>【知・理】 学校の周りの様子は、場所によって違いがあること、それぞれの場所の特徴やよさについて理解している。   | 1<br>(本時)             |
| まとめる・生かす | 5 これまでの学習を生かし、鹿児島市の様子について予想する。<br>方位ごとの土地利用について、土地の高さにも着目させ、自然、建物、交通の様子等を関連付けながら、身近な地域の特徴について考えることができるようにする。   | 1                     |

#### 4 本 時 ( 1 1 / 1 2 )

(1) 目 標

これまでに調べた各方位の様子共通点や相違点を話し合い、学校の周りの特色を、地形や土地利用の様子、交通の様子等を比較・分類・関連付けながら考えることができるようにする。

(2) 評価規準

各方位の学校の周りの様子について、地形や土地利用の様子、交通の様子等を比較・分類・関連付けながら考えている。 **【社会的な思考・判断・表現】**

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、実際に校区探検を通してわかったことを振り返りながら、学校の周りの様子は、方位ごとに違いがあるということに気付かせ、地形や土地利用、交通等がどのように関連しているのか予想させる。

「調べる」過程では、グループごとに校区探検を通して、わかったことを共有する場を設定する。四方位の子どもが入ったグループを編成し、自然・建物・交通の様子という観点から方位ごとの土地利用の特色についてXチャートを活用しながら比較・分類させる。そして、積層模型を用いて、土地の高低を捉えさせ、そのことと方位ごとの特徴を関連付けるようにしたい。

「まとめる」過程では、それぞれのグループごとに構築した意見を学級全体で共有・吟味する場を設定する。協同的な「学び合い」を通して、校区の地形の違いを生かして、土地利用を図ったり、交通網が整備されたりしているということに気付かせ、身近な地域社会に対しての理解を深められるようにしたい。

(4) 本時の展開 □ 重点化するスキル [ ] 子どもの意識 ○ 指導の手立て ※ 評価

| 過程       | 時間 | 主 な 学 習 活 動 と 指 導 の 手 立 て  |  |
|----------|----|--|--|
| つかむ・見通す  | 5  | 1 前時の学習の振り返りをする。<br>{<br>・ 方位ごとに校区探検をしたな。<br>・ 他の班は、校区探検を通して、どんなことがわかったのかな。<br>}<br>2 本時のめあてや学習の流れを確認する。<br>田上小のまわりの様子は、どんな特ちょうがあるのだろうか。   | ○ これまでの学習について振り返り、本時の学習の目的を明確に捉えさせる。<br>○ 班ごとに分かれて、学校探検を行ったが、それぞれの班ごとにわかったことや気付いたことが違うことを確認することで、学校周辺の一部だけではなく学校周辺全体の土地利用に対しての興味・関心を高める。   |
| 調べる      | 25 | 3 調べてきたことを生かし、グループごとにそれぞれの方位ごとの土地利用の特色について話し合わせる。<br>比較する 分類する<br>{<br>・ どの方位にも家があるな。<br>・ 線路があるな。<br>・ 川が流れているな。<br>・ 大きな道のそばに、お店がならんでいる<br>・ バス停があるところとないところがあるな。<br>}<br>4 各グループごとにまとめた四方位の土地利用の特色について発表する。 | ○ 学校の北・南・東・西の土地利用の特色について自然・建物・交通の観点から、「Xチャート」にまとめていくことで、それぞれの方位ごとの土地利用の共通点や相違点に気付くことができるようにする。<br>※ 各方位の学校の周りの様子について、地形や土地利用の様子、交通の様子等を比較・分類・関連付けながら考えているか。(ワークシート)<br>○ まとめられた子には、地形(土地の高さ)に着目させ、方位ごとの特色をより詳しく考えさせる。<br>○ うまくまとめられていない子には、観点を1つに絞り、自分が調べた方位と関連付けながら考えさせる。 |
| まとめる・生かす | 15 | 5 土地の高低と関連付けて考える。<br>{<br>・ 土地の低いところに住宅や店が集まっているな。<br>}<br>6 本時の学習についてまとめる。<br>方位によってまちの様子に違いがあり、土地の低いところに住宅や店、大きな道路が集まっている。   | ○ 積層模型を活用し、方位の違いによる土地利用の違いに気付かせるとともに、方位が違っても地形(土地の高さ)によっては、共通点があることにも気付かせる。<br>○ 様々な時代の学校周辺の写真を通して、時代によっても身近な地域の様子が変わってきたということを捉えさせ、多面的な見方ができるようにする。   |